

機械器具 55 医療用洗浄器
一般医療機器 器具除染用洗浄器 35424000

デンティストターⅡエコ

【警告】

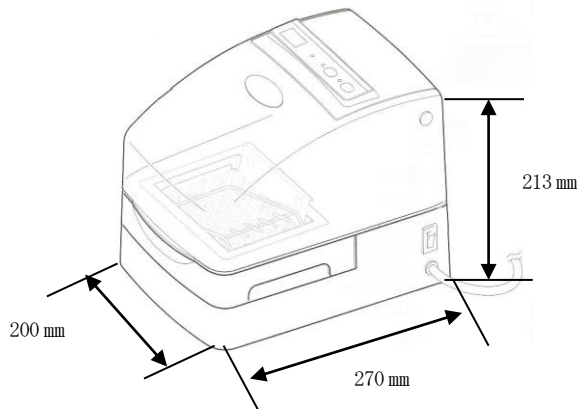
- ・ 火傷に注意すること。
- ・ 消毒槽には、水や異物、指定のオイル以外の物は入れないで下さい。
- ・ 洗浄し水分が付着したままのハンドピースは直接、消毒槽に入れないで下さい。
- ・ 本体を使用中(高温オイル)は絶対、移動させないで下さい。
- ・ 使用中及び使用後しばらくは、伝熱版や本体が熱くなっていますので手を触れないで下さい。

【禁忌・禁止】

- ・ 熟知したものを以外は、使用しない事。
- ・ オートクレーブで滅菌不可の指示があるエアタービンハンドピースは使用しない事。
- ・ エアベアリング(ノーベア)方式のエアタービンハンドピースは使用しない事。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造



質量

4.2 kg

電源電圧	: AC100V
周波数	: 50/60HZ
電源入力	: 2.55A
消費電力	: 255W

2. 原理

本品は内部にヒータを有し、伝熱板を介して消毒槽を加熱することで、消毒液を高温に保持しする事で、再使用可能な手術器具、麻酔器具、及び他の手術用具の除染・消毒を行う。一連の工程は全て電子回路にて制御されている。

【使用目的、効能又は効果】

本品は、再使用可能な手術器具、麻酔器具、及び他の手術用具の除染・消毒のために用いる、乾燥機能を内蔵した洗浄器である。

【品目仕様等】

(詳細は取扱説明書を参照すること)

項目	仕様
外観検査	外観に不具合の無きこと
動作確認検査	操作に従った作動
絶縁抵抗	1MΩ以上
耐電圧	1000Vの電圧に耐えること
電源入力	定格表示値の10%を超えないこと
消費電力	消費電力は、銘板表示値の110%以下のこと
保護接地回路の抵抗	0.1Ωを越えないこと
消毒槽温度	100℃～120℃未満
漏れ電流	1mA以下
連続漏れ電流	下記の許容値を超えないこと 接地漏れ電流：0.5mA（正常状態）1mA（単一故障状態） 外装漏れ電流：0.1mA（正常状態）0.5mA（単一故障状態）

【操作方法又は使用方法等】

(詳細は取扱説明書を参照すること)

1. 準備

- (1) 電源コードを商用電源に差し込む。
- (2) 側面の電源スイッチを入れる。
- (3) 消毒槽の目盛まで洗浄用オイルを入れる。
- (4) 消毒槽に消毒カゴを設置する。
- (5) 消毒カゴに消毒台を置き下図のように未消毒の器具を上に乗せる。

図1. 器具の先端だけを消毒するときは、消毒台を図のように置く。

図2. 器具全体を消毒するときは消毒台を図のように置く。

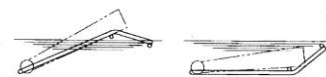


図1. 局部的に消毒するとき 図2. 器具全体を消毒するとき

- (6) デンティストター本体のフタを閉じる。安全上フタが開いていると消毒運転が出来ない構造になっている。

2. 操作

- (1) 操作パネルのスタートボタンを押す。
- (2) 操作パネルの緑色ランプと青色ランプが点灯し消毒カゴが下がり消毒運転が開始される。
- (3) 消毒が終了すると自動的に消毒カゴに上がり、乾燥・冷却が行われる。乾燥・冷却中は、操作パネルの青色ランプが点滅する。
- (4) 乾燥・冷却が終了すると操作パネルの緑色ランプと青色ランプが消灯する。
- (5) 乾燥・冷却後、洗浄用オイルは約95℃で保温される。最終操作後2時間後に自動的に保温は終了する。保温機能の有無は選択できる。
- (6) フタを閉め、電源スイッチを切る。

取扱説明書を必ず参照のこと

【使用上の注意】

1. 熟知した者以外は、機器を使用しないで下さい。
2. 機器を設置するための注意事項
 - (1) 浴室・シャワー室・流し台の横など水のかかるようなところでは使用しないこと。
 - (2) 直射日光を避けた風通しのよい所で使用すること。
 - (3) オイルは適切な量を守り規定のラインに合わせること。
 - (4) 消毒槽と伝熱板の間に異物が挟まらないこと。
 - (5) 付属の消毒カゴ以外の容器は使用しないこと。
 - (6) 裏板や底板を外さないこと。
 - (7) 常に傾斜、振動、衝撃、(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - (8) アースは、必ずとること。
3. 機器を使用するための注意事項
 - (1) 使用された器具は、異物や水分をふき取り消毒槽に入れること。
 - (2) ハンドピースは接続ホースより外し水を切って消毒槽に入れること。
4. 機器の使用時の注意事項
 - (1) オイルが高温の為、使用時の機器及び消毒槽の移動は絶対禁止すること。
 - (2) オイルが高温になる為、消毒槽内に水・異物の混入に注意すること。
 - (3) 音声アナウンス後、フタを開け消毒カゴ内の、器具の温度が、冷めたのを確認してから、取り出すこと。
 - (4) 消毒終了後の器具に、付着したオイルはよく拭き取ること。
 - (5) 緊急時に、機器を終了させるには、ストップボタンか、右側面の電源スイッチまたはフタを開く事で止まるが、状況により、適切な措置をとること。オイルには決して触れないこと。
 - (6) 機器に患者が触れないように注意すること。
5. 機器の終了時の注意事項
 - (1) 消毒槽などが規定の位置に戻っているのを確認した後、スイッチを切ること。
 - (2) オイル交換は必ず電源をOFFにして、常温になった事を確認して行うこと。
 - (3) オイル交換は、消毒カゴが上部位置にあることを確認し、昇降ハンガーから消毒カゴを外して、消毒槽トッテを両手で持って、手前に向けて捨てること。
 - (4) オイル交換時に消毒槽の裏面や伝熱板に付着したオイルは必ず、拭き取ること。
 - (5) 故障したときは、触らずに専門家に修理を依頼すること。
 - (6) 機器の改造はしないこと。
6. その他の注意事項
以下の行為は正常な温度制御が出来なくなり、火傷や故障の原因になりますので、おやめ下さい。
 - (1) 消毒槽でお湯を沸かすことは絶対にお避け下さい。お湯が飛散し非常に危険です。
 - (2) 消毒槽と伝熱板の間に異物が挟まらないようにして下さい。ヒータの熱が十分伝達されずヒータが異常発熱します。
 - (3) 水分などが混ざったオイルは使用しないで下さい。万一水分等が混入された場合は、水蒸気爆発を起こし、大変危険です。
 - (4) 水洗いした器具などは、水を切るか、よく拭き取るなどの行為をしてから消毒槽に入れて下さい。水洗い直後は消毒槽に絶対に入れないで下さい。
 - (5) 消毒槽の底面に、オイルがついたまま使用しないで下さい。異臭の発生原因になります。
 - (6) 消毒中にオイルの補充することはお避け下さい。
 - (7) 指定のオイル以外のものは使用しないで下さい。
 - (8) 指定の消毒槽以外の容器は使用しないで下さい。
 - (9) 消毒中に器具の追加はお避け下さい。
 - (10) 消毒後は伝熱板や本体が熱くなっていますので、火傷にご注意下さい。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管方法
 - ・直射日光が当たる場所や高温・多湿の場所は避けること。
 - ・室温で保存すること。
2. 使用期間：5年
 - * 適正な使用環境と維持管理の基に、適切な取り扱いで本来の用途に使用された場合、設計仕様書に記された機能及び性能を維持し、使用することができる標準的な使用期間を意味する。

【包装】

1台/箱

【製造業者又は製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者
：株式会社ビッグライン
住所 兵庫県神戸市須磨区北落合3丁目28-2

製造業者
：株式会社ビッグライン
住所 兵庫県神戸市須磨区北落合3丁目28-2

取扱説明書を必ず参照のこと